

4 既設大学等の状況

大学の名称	中部大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は称号	平均定員 超過率	開設年度	所在地	
	年	人	3年次 人	人		倍			
工学部								愛知県春日 井市松本町 1200	
機械工学科	4	160	2	614	学士(工学)	1.14	昭和39年度		
電気システム工学科	4	80	2	314	学士(工学)	1.12	昭和39年度		
都市建設工学科	4	60	2	244	学士(工学)	1.06	昭和39年度		
建築学科	4	110	2	434	学士(工学)	1.17	昭和39年度		
電子情報工学科	4	80	2	314	学士(工学)	1.17	昭和41年度		
応用化学科	4	90	2	344	学士(工学)	1.25	昭和41年度		
情報工学科	4	120	2	464	学士(工学)	1.21	平成12年度		
ロボット理工学科	4	80	2	80	学士(工学)	1.00	平成26年度		
工学部 計	—	700	16	2,808	—	1.16	—		
経営情報学部									
経営情報学科	4	110	2	444	学士(経営情報学)	1.12	昭和59年度		
経営学科	4	110	2	444	学士(経営情報学)	1.19	平成14年度		
経営会計学科	4	80	2	324	学士(経営情報学)	0.97	平成23年度		
経営情報学部 計	—	300	6	1,212	—	1.11	—		
国際関係学部									
国際関係学科	4	50	2	204	学士(国際学)	1.19	昭和59年度		
国際文化学科	4	50	2	204	学士(国際学)	1.23	昭和59年度		
中国語中国関係学科	4	40	1	162	学士(国際学)	0.48	平成21年度		
国際関係学部 計	—	140	5	570	—	1.00	—		
人文学部									
日本語日本文化学科	4	80	2	304	学士(人文学)	1.10	平成10年度		
英語英米文化学科	4	70	2	284	学士(人文学)	1.13	平成10年度		
コミュニケーション学科	4	70	2	284	学士(人文学)	1.09	平成10年度		
心理学科	4	90	2	324	学士(人文学)	1.11	平成14年度		
歴史地理学科	4	90	2	324	学士(人文学)	1.14	平成16年度		
人文学部 計	—	400	10	1,520	—	1.11	—		
応用生物学部									
応用生物化学科	4	110	2	424	学士(応用生物学)	1.09	平成13年度		
環境生物科学科	4	110	2	424	学士(応用生物学)	1.12	平成13年度		
食品栄養科学科	4	140	2	424	学士(応用生物学)	1.19	平成17年度		
応用生物学部 計	—	360	6	1,272	—	1.13	—		
生命健康科学部									
生命医科学科	4	60	—	240	学士(生命医科学)	1.24	平成18年度		
保健看護学科	4	100	—	400	学士(看護学)	1.07	平成18年度		
理学療法学科	4	40	—	160	学士(理学療法学)	1.19	平成22年度		
作業療法学科	4	40	—	160	学士(作業療法学)	1.15	平成22年度		
臨床工学科	4	40	—	160	学士(臨床工学)	1.21	平成22年度		
スポーツ保健医療学科	4	80	—	240	学士(スポーツ保健医療学)	1.38	平成23年度		
生命健康科学部 計	—	360	—	1,360	—	1.14	—		
現代教育学部									
幼児教育学科	4	80	2	324	学士(教育学)	1.08	平成20年度		
児童教育学科	4	80	2	324	学士(教育学)	1.21	平成20年度		
現代教育学部 計	—	160	4	648	—	1.14	—		
大学の名称	中部大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は称号	平均定員 超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
工学研究科								愛知県春日 井市松本町 1200	
機械工学専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士(工学)	0.65	昭和48年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.08	昭和48年度		
電気電子工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.91	昭和48年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.25	昭和48年度		

建設工学専攻 (博士前期課程)	2	16	—	32	修士(工学)	0.71	昭和 51 年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.00	昭和 51 年度		
応用化学専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士(工学)	1.10	昭和 48 年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.41	昭和 51 年度		
情報工学専攻 (博士前期課程)	2	16	—	32	修士(工学)	1.21	平成 16 年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.33	平成 16 年度		
創造エネルギー理工 学専攻 (博士前期課程)	2	6	—	6	博士(工学)	0.66	平成 26 年度		
経営情報学研究科 経営情報学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(経営情報学)	0.10	平成 8 年度		
(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(経営情報学)	0.00	平成 10 年度		
経営学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(経営学)	0.35	平成 18 年度		
国際人間学研究科 国際関係学専攻 (博士前期課程)	2	4	—	8	修士(国際関係学)	0.75	平成 16 年度		
(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(国際関係学)	0.00	平成 16 年度		
言語文化専攻 (博士前期課程)	2	4	—	8	修士(言語文化学)	0.62	平成 16 年度		
(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(言語文化学)	0.00	平成 16 年度		
心理学専攻 (博士前期課程)	2	4	—	8	修士(心理学)	0.25	平成 16 年度		
(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(心理学)	0.00	平成 16 年度		
歴史学・地理学専攻 (博士前期課程)	2	4	—	8	修士(歴史学)	0.37	平成 20 年度		
(博士後期課程)	3	2	—	6	修士(地理学) 博士(歴史学) 博士(地理学)	0.00	平成 22 年度		
応用生物学研究科 応用生物学専攻 (博士前期課程)	2	24	—	48	修士(応用生物学)	0.93	平成 17 年度		
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(応用生物学)	0.60	平成 19 年度		
生命健康科学研究科 生命医科学専攻 (博士前期課程)	2	12	—	24	修士(生命医科学)	0.41	平成 23 年度		
(博士後期課程)	3	3	—	6	博士(生命医科学)	0.66	平成 25 年度		
看護学専攻 (修士課程)	2	6	—	12	修士(看護学)	0.66	平成 23 年度		
リハビリテーション 学専攻 (修士課程)	2	6	—	6	修士(リハビリテ ーション学)	0.33	平成 26 年度		
教育学研究科 教育学専攻 (修士課程)	2	12	—	24	修士(教育学)	0.16	平成 24 年度		

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学(学部、学部)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC 対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成 26 年 5 月 1 日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第 2 位まで(小数点第 3 位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
- ・大学、短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位)、大学院においては専攻単位で記入してください。